

## 技術ボランティアで、鹿北中学校の自転車スタンドを製作・贈呈

県立鹿本商工高等学校

鹿本商工高校機械科は、山鹿市立鹿北中学校から製作依頼があった自転車スタンドをこのほど完成させ、機械科1年生代表3人が、駐輪の仕方などを説明し、引き渡しました。

これは、生徒たちが学んだ知識や技術を地域のために役立てようと、工業科が行っている「技術ボランティア」の一環です。

鹿北中学校より「自転車をきれいに整列させるためのスタンドを作ってほしい」との要望があり、昨年9月頃から放課後などの時間を使い製作を始めました。自転車スタンドを作るのは、初めての試みで、生徒たちは試行錯誤を繰り返しながら完成させました。あらかじめ一定の断面形状に成型されたC形・L形の鋼材を利用したシンプルな設計で、前輪を固定するために溝があるC形鋼とL形鋼をはしごのように溶接し、地面に設置しました。1基に60センチ間隔で40台駐輪できる設計で、2基製作。溶接加工の技術を使い仕上げました。

贈呈式では、全校生徒98人がグラウンドに集まり、代表生徒によるお礼の言葉や感謝状の贈呈がありました。本校生徒は、中学生を前に「将来は自動車整備士になりたい」など、学校生活のことや、ものづくりの楽しさなど、経験談を話し、交流を深めました。生徒自らが地域に出かけ、経験を共有させていただくことで、より大きな達成感や充実感を感じることができたようです。

